



PISA

IN FOCUS

32

education policy education policy education policy education policy education policy education policy education policy

教室に秩序のある学校では生徒たちの成績がよくなるか。

- ほとんどの生徒は、教授言語の授業において秩序ある教室に恵まれている。
- 社会経済的に恵まれない生徒は、恵まれた生徒たちよりも秩序ある教室に恵まれにくい。
- 秩序ある教室は、学校全体の社会経済的プロファイルと関係なく、優れた成績に結びつく。

ほぼあらゆる場所で学習に適した環境。

15歳の子供たちのクラスを想像してみよう。どのようなイメージが頭に浮かぶだろうか。整然と並ぶ机に向かって生徒たちが黙って座り、おとなしく教師

の言うことを一言ももらすまいとしている姿だろうか。それとも、ある程度はコントロールされているものの、無秩序で、生徒たちが教室中で互いに話し、あるいは叫ぶ中で、教師が生徒たちの注意を引こうと必死になっている様子だろうか。幸い、現実はこの両極端の中間あたりである。PISA2009年調査に参加した生徒たちの報告によると、PISAに参加したほとんどの国・地域のほとんどの生徒たちは、秩序ある教室の恩恵を受けている。例えば、OECD加盟国全体の平均で、5人のうち4人の生徒は、他の生徒たちによって気が散るために教室でしっかり勉強できないことはごくまれだと報告した。また、ほぼ4人のうち3人の生徒は、生徒たちが静まるのを教師が長い間待たなければならないこともごくまれだと報告し、3人のうち2人以上の生徒たちが、教室内が騒がしく無秩序になることは一度も、又はほとんどないと報告した。

規律に関する環境が更に学習の助けとなっている国や地域もある。例えば、韓国やタイでは、混乱によってしっかり勉強できないと報告した生徒は10人のうち1人に満たない。日本、カザフスタン及びタイでは、授業が始まってから勉強にとりかかるまで長時間待たなければならないと報告した生徒は10人のうち1人に満たない。また、日本、カザフスタン及び上海では、授業が始まる前に生徒たちが静まるのを教師が長い間待たなければならないと報告した生徒は10人のうち1人に満たない。



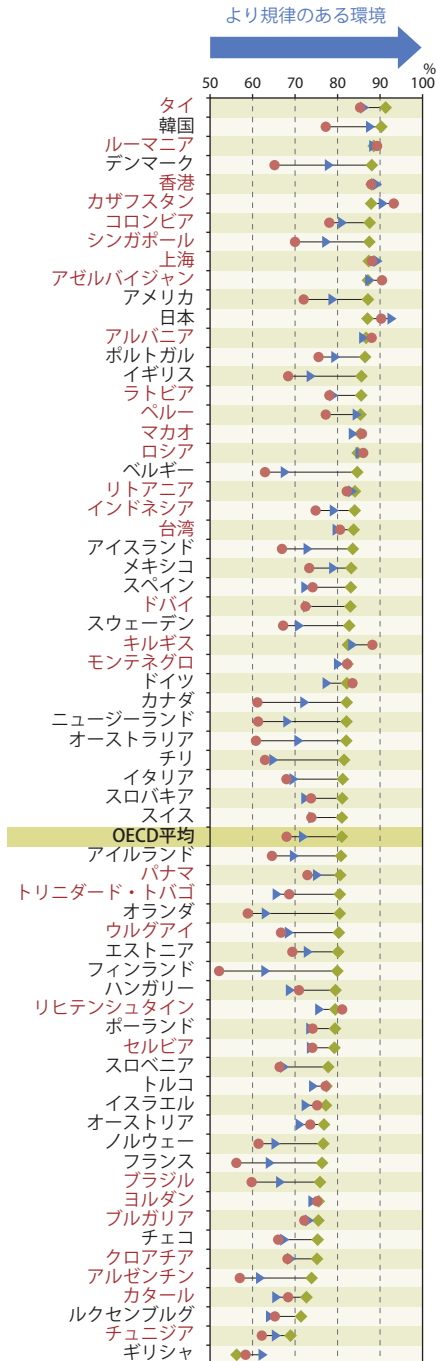
PISA

IN FOCUS

教室の秩序

下記の事項について教授言語の授業で「ほとんどない」「たまにある」と回答した生徒の割合:

- ◆ 生徒は、勉強があまりよくできない
- ▲ 先生は、生徒が静まるまで長い時間待たなければならない
- 授業中は騒がしくて、荒れている



注: OECD加盟国は黒色で国名を表記。

出典: PISA 2009 Results: What Makes a School Successful? Resources, Policies and Practices, Figure IV.4.2.

StatLink <http://dx.doi.org/10.1787/888932343418>

これに対し、ギリシャでは、ほぼ2人に1人の生徒が、ほとんど、又はすべての授業でしっかり勉強できないと報告した。クロアチア、ギリシャ及びスロベニアでは、ほぼ2人に1人の生徒が教師の話聞いていないと報告し、アルゼンチン、フィンランド、フランス、ギリシャ及びオランダでは、ほぼ2人に1人の生徒が、教室は騒がしく、秩序がないと報告した。

PISA2009年調査において、生徒に下記の質問に回答するよう求めた:

学校での国語の授業で、次のようなことはどのくらいありますか。(1)~(5)のそれぞれについて、あてはまる番号に一つ○をつけてください。

	ほとんどない	たまにある	たいていそうだ	いつもそうだ
(1) 生徒は、先生の言うことを聞いていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) 授業中は騒がしくて、荒れている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3) 先生は、生徒が静まるまで長い時間待たなければならない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(4) 生徒は、勉強があまりよくできない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(5) 生徒は、授業が始まってからもなかなか勉強にとりかからない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

教室がどの程度学習の助けとなっているかについての生徒たちの意見をまとめ、学校における規律に関する環境を評価する総合指標を策定した。



成績との明確な関係

学校における規律に関する環境についての生徒たちの意見は、国の間だけでなく、学校そのもの間でも異なる。OECD加盟国全体の平均で、こうした質問に対する生徒たちの回答におけるばらつきの15%は学校間の違いによるものである。チェコ、エストニア、イタリア、日本、ラトビア及びスロベニアでは、生徒たちの回答におけるばらつきの20%以上が学校間に見られる。

教室環境と成績との結びつきは強固である。

教室や学校の規律に関する環境は、学習にも影響し得る。規律に関する問題の多い教室や学校は、教師が指導を始められるようになる前に秩序ある環境を作り出すためにより多くの時間を割かなければならないため、学習に資する程度が低い。PISA2009年調査に参加した61の国と地域で、教室環境が学習により役立っている学校の生徒たちの方が良い成績を収める傾向がある。

	学校の規律に関する環境との関係		
	…学校の生徒たちの平均的な社会経済的地位	…生徒の読解力の成績	…生徒の読解力の成績 (生徒と学校の社会経済的地位、人口統計プロファイル、その他種々の学校の特徴を考慮)
オーストラリア	正の関連性		
オーストリア	正の関連性		
ベルギー	正の関連性		
カナダ	正の関連性		
チリ	正の関連性		
チェコ	正の関連性		
デンマーク	正の関連性		
エストニア	正の関連性		
フィンランド	正の関連性		
フランス	正の関連性		m
ドイツ	正の関連性		
ギリシャ	正の関連性		
ハンガリー	正の関連性		
アイスランド	正の関連性		
アイルランド	正の関連性		
イスラエル	正の関連性		
イタリア	正の関連性		
日本	正の関連性		
韓国	正の関連性		
ルクセンブルグ	正の関連性		
メキシコ	正の関連性		
オランダ	正の関連性		
ニュージーランド	正の関連性		
ノルウェー	正の関連性		
ポーランド	正の関連性		
ポルトガル	正の関連性		
スロバキア	正の関連性		
スロベニア	正の関連性		
スペイン	正の関連性		
スウェーデン	正の関連性		
スイス	正の関連性		
トルコ	正の関連性		
イギリス	正の関連性		
アメリカ	正の関連性		
OECD平均	正の関連性		
アルバニア	負の関連性		
アルゼンチン	負の関連性		
アゼルバイジャン	負の関連性		
ブラジル	負の関連性		
ブルガリア	負の関連性		
コロンビア	負の関連性		
クアチア	負の関連性		
ドバイ	負の関連性		
香港	負の関連性		
インドネシア	負の関連性		
ヨルダン	負の関連性		
カザフスタン	負の関連性		
キルギス	負の関連性		
ラトビア	負の関連性		
リヒテンシュタイン	負の関連性		m
リトアニア	負の関連性		
マカオ	負の関連性		m
モンテネグロ	負の関連性		m
パナマ	負の関連性		
ペルー	負の関連性		
カタール	負の関連性		
ルーマニア	負の関連性		
ロシア	負の関連性		
セルビア	負の関連性		
上海	負の関連性		
シンガポール	負の関連性		
台湾	負の関連性		
タイ	負の関連性		
トリニダード・トバゴ	負の関連性		
チュニジア	負の関連性		
ウルグアイ	負の関連性		

注: OECD加盟国は黒色で国名を表記。

出典: PISA 2009 database; PISA 2009 Results: What Makes a School Successful? Resources, Policies and Practices, Tables IV.4.2 and IV.2.14c.

StatLink <http://dx.doi.org/10.1787/888932343285>



PISA

IN FOCUS

規律に関する環境が望ましい学校には、その他にも優れた成績と密接に関連する特徴がある。例えば、こうした学校には、恵まれた生徒集団が多い傾向がある。36の国と地域で、学校の規律に関する環境とその生徒たちの平均的な社会経済的地位との間にプラスの関係がある。

しかし、生徒と学校の社会経済的地位や人口統計プロフィール、更に各学校で利用可能な教育資源、学校ガバナンス、実施されている評価及び説明責任の仕組みなど、その他の様々な学校の特徴を考慮しても、31の国と地域で、規律に関する環境が望ましい学校の方が良い成績を収める傾向がある。規律に関する環境は、その他の学校の特徴や生徒たちの背景を考慮しても、各国に一貫して成績と重要なプラスの関係を示す、学校レベルの数少ない特徴の一つである。実際に、生徒の社会経済的地位と規律に関する環境との強い結びつきは、社会経済的地位が生徒たちの成績に及ぼす影響を学校の規律に関する望ましい環境によって弱め得ることを示唆している。

結論：学習に役立つ規律に関する環境は、生徒の成績と明確に関連しているだけでなく、生徒の社会経済的地位が成績に及ぼす影響を弱められることが、PISA調査による結果から示唆されている。

本稿に関するお問合せ先

担当：Miyako Ikeda (Miyako.IKEDA@oecd.org)

出典：OECD (2012), *PISA 2009 Results: What Makes a School Successful? Resources, Policies and Practices*, Volume IV, PISA, OECD Publishing.

参考サイト

www.pisa.oecd.org

www.oecd.org/pisa/infocus

次回テーマ：

「教育システムについて、移民の生徒たちから何が分かるか」

本稿の翻訳は、日本のPISAナショナルセンターが担当しました。